

政策方針1

育ちと学びを支えるまちづくり



▲小学校での授業風景

- 政策1 子育て支援の充実
- 政策2 学校教育の充実
- 政策3 青少年の健全育成
- 政策4 生涯学習社会の推進
- 政策5 文化財の保護と文化芸術の振興
- 政策6 スポーツ活動の推進

子育て支援の充実

SDGs

取組の方向性

子育て世代が安心して暮らせる環境を整え、子どもたちが地域の中で健やかに育つための支援と居場所づくりを進めます。

現状と課題

本市では、妊娠期から子育て期まで、子どもと保護者を切れ目なく支援する体制づくりを進めています。

こども家庭センターを中心とした相談体制の充実を図り、保育所、幼稚園、認定こども園、関係機関などと連携することで支援が必要な家庭の早期発見・早期対応に努めていますが、近年は核家族化の進行やコミュニティ意識の希薄化などに伴い、子育ての不安や悩み、孤立感を持つ親が増加傾向にあります。アンケートやワークショップでも「気軽に相談できる場所」「親同士の交流機会」を要望する声が多く寄せられており、子育てについて共感し合える場の充実が求められています。

また、不妊・不育に悩む夫婦やひとり親家庭、ヤングケアラーの増加など家庭における課題は多様化しているため、子どもの居場所づくりも含め、実情に応じた支援体制の充実が必要です。

さらに、子どもたちが生活時間の多くを過ごす保育所・幼稚園・認定こども園、小規模保育事業所等は、健全な成長を育む場として大きな役割を担っており、柔軟な預かり体制の充実強化も必要です。

特に乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で重要な時期であり、一人ひとりの発達の特性に応じた適切な関わりや質の高い就学前保育・教育の充実が求められます。

＼ まちづくり目標値 ／

「子育て支援の充実」に満足している市民の割合

40.4%

65.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値



妊娠・出産期の支援

- 子どもを望み、不妊治療を行う方に対して、経済的負担の軽減を図ります。
- 将来の妊娠に向けた健康管理について、性別を問わず、幅広い世代への普及啓発に努めます。
- 妊婦やその家族等と面談の機会を設け、状況に応じて必要な情報提供、支援を行います。
- 産後の体調回復や育児不安の軽減を目的に、安心して子育てができるよう、産後ケアの充実を図ります。
- 出産・子育てに係る給付金等を支給し、経済的な支援を図ります。

目標値

指標名(単位)	現状値	目標値
こんにちは赤ちゃん事業訪問率(%)	100.0 (令和6年度)	100.0 (令和12年度)

子育て環境の充実

- 保護者が安心して子育てできるように、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制を整えます。
- こども家庭センターを中心に保育所、幼稚園、認定こども園、学校、関係機関などと連携し、子育て世代の親へ必要な情報提供を行うとともに、相談しやすい環境の整備に努めます。
- 子どもやその保護者、若者などに対して、アンケートなどにより定期的に実態調査を実施するとともに、ひとり親家庭、**ヤングケアラー**など多様な家庭の状況把握に努め、実情に応じた支援を行います。
- 放課後の子どもの安全な居場所づくりとして、放課後児童クラブや放課後子ども教室を実施するとともに、地域に根差した児童館の運営を行い、子どもの健全な育成に努めます。
- 親子で参加できる遊びの広場などを開催し、未就園児の交流・遊び・保護者同士のつながりの機会の充実に努めます。
- 子どもの健康診査等を通じて成長発達を確認し、生活習慣の見直し等に関する相談を行います。

目標値

指標名(単位)	現状値	目標値
児童館利用者数(人)	61,582 (令和6年度)	70,000 (令和12年度)
3歳児健康診査受診率(%)	96.7 (令和6年度)	100.0 (令和12年度)

就学前教育・保育の充実

- 公立保育所、幼稚園の施設運営に関して、保育ニーズの状況に応じて、民営化や認定こども園化を検討するとともに、適切な人員配置、研修の充実、ICTシステムの導入、配慮の必要な子どもや医療的ケア児の受け入れなど、質の高い幼児教育・保育の提供に継続的に取り組みます。
- 保育ニーズの状況に応じて、小規模保育事業所等の参入を促進するなど、受け入れ体制の充実に努めます。
- 多子世帯への保育料の減免など、経済的な支援を図ります。
- 共働き世帯や多様な働き方に対応した預かり体制の充実に努めます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
保育所等利用待機児童数(人)	0 (令和6年度)	0 (令和12年度)

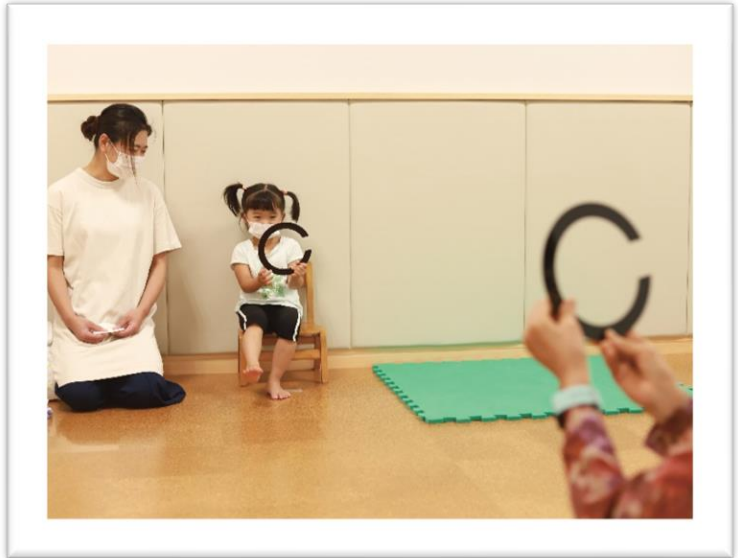
関連計画 東温市こども計画／東温市健康増進計画



▲保育所での遊び



▲児童館での遊び



▲3歳児健診



▲パパママ教室



取組の方向性

児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばすため、安全・安心な教育環境を整備し、多様な学びの機会を確保しながら、学校・家庭・地域が連携して教育の質を高めます。

現状と課題

本市では、未来を担う子どもたち一人ひとりが生きる力を育み健やかに成長できるように、学校・家庭・地域が連携した社会総がかりの教育活動を進め、地域に開かれ信頼される学校づくりに取り組んでいます。さらに、全国学力・学習状況調査や県学力診断調査等を活用し、学力向上に向けた取組を展開するとともに、全小中学校への電子黒板や1人1台端末の導入など ICT 環境の整備を進めています。

また、特別支援教育については、保育所・幼稚園・子育て支援関係者と小中学校が緊密に連携し、児童生徒の教育的ニーズに応じた支援を行っています。さらに、教職員の資質向上や負担軽減のための施策を実施し、教育の質の向上に努めています。こうした取組全体をより効果的に進めるためには、学校・家庭・地域が相互に連携し、子どもたちの学びや成長を多方面から支える体制を強化していくことが重要です。

一方で、学校施設は全小中学校で耐震化工事が完了しているものの、老朽化が進んでおり、今後も計画的な改修が必要です。また、災害発生に備えた実効性のある防災教育や訓練を継続する必要があるため、避難所となる学校施設の整備も進めています。通学路については、危険箇所の点検・把握や対策の継続的な実施が必要です。

学力面では、調査結果を踏まえた効果的な指導方法の改善や、1人1台端末等の ICT 機器を積極的に活用できる環境づくりの継続が必要です。また、家庭や地域の教育力の低下、人間関係の希薄化により、子どもたちへの生活習慣や規範意識、人権感覚の育成、心身の健康づくりなども必要となっています。特別支援教育については、インクルーシブ教育の推進に向けて、更なる体制強化が必要です。

加えて、教職員には高い専門性と対応力が求められる一方で、多忙化による負担感が大きく、子どもと向き合う時間の確保に努めながら、教育の質の向上を図ることが必要です。

学校給食においては、食育を通じて健全な成長を支えるとともに、地産地消を積極的に推進しており、安全性や栄養管理の徹底とあわせ、更なる充実が求められます。

「学校教育の充実」に満足している市民の割合

38.4%



63.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

社会総がかりで取り組む教育の推進

- 学校・家庭・地域が連携・協働し、**コミュニティ・スクール**を基盤として学校外の多様な人材とつながりながら、地域に開かれた魅力ある学校づくりを進め、地域ぐるみで子どもを育てる機運を高めつつ、地域学校協働活動を拡充して地域と一体となった学校活動を推進します。
- 学校の教育活動について、保護者や地域の代表の方などの参画を得ながら学校評価を行い、効果的に活用します。
- 少子化に伴う児童生徒数の減少が続く中、学校運営協議会での活発な熟議を通して、将来に向けた地域における学校のあり方などを探究し、地域の実情に応じた学校づくりを進めます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校評価書の「家庭・地域との連携」領域の保護者評価の平均値(点) ※4点満点	3.16 (令和6年度)	3.20 以上 (令和12年度)



▲コミュニティ・スクールでの活動

安全・安心な教育環境の整備

- 学校施設の老朽化に伴う大規模改修工事を推進し、安全で安心して学べる教育環境の整備に努めます。
- 地震や豪雨などの自然災害のほか、あらゆる場面を想定した避難訓練などの実効的な防災教育を行い、防災意識の向上に努め、避難場所となる学校施設の整備に取り組みます。
- 通学路の安全点検の継続実施や不審者情報の共有などに努め、学校・家庭・地域が連携し、児童生徒の安全を確保します。

目標値

指標名(単位)	現状値	目標値
学校等施設長寿命化個別計画に基づく長寿命化改修等事業実施棟数累計(棟)	11 (平成31～令和6年度)	20 (平成31～令和12年度)

確かな学力を育てる教育の推進

- 全国学力・学習状況調査等の結果分析を行い、効果的な学力向上につながる検証や指導方法等の改善に取り組むとともに家庭学習の重要性について、保護者への啓発に努めます。
- 外国語指導助手や外国語活動支援員により、小学校の外国語活動及び外国語科の充実と中学校の外国語教育への円滑な接続を図り、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を育成します。
- ICT 機器を活用し、一人ひとりの学習状況に応じた個別学習や協働学習を行うことにより、教育の質の向上を図ります。

目標値

指標名(単位)	現状値	目標値
学校生活アンケートで「授業がよくわかる」を「あてはまる」と答えた児童生徒の割合(%)	55.0 (令和6年度)	60.0 (令和12年度)

豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進

- 児童生徒が生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断など道徳性を身に付けられるよう発達段階に応じた効果的な道徳教育と人権教育を、全教育活動を通して推進します。
- 地域の人材や自然を活用した体験学習をはじめ、ミュージカルの観劇など、地域資源を活用した特色ある学校づくりに努めます。
- 市内企業の出前授業や職場体験学習などで地域の将来を担う子どもたちの勤労観や職業観を養うキャリア教育を推進します。
- 学校、家庭及び地域の医療機関等と連携した児童生徒の健康管理を推進するとともに、全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果を基に体力向上に取り組みます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校評価書の「豊かな心、健やかな体を育てる教育」領域の保護者評価の平均値(点) ※4点満点	3.22 (令和6年度)	3.30 以上 (令和12年度)

特別支援教育の充実

- 教職員や保護者が特別支援教育について理解を深め、共通認識のもと適切な支援を行うことができるように研修の充実に努めます。
- 保育所、幼稚園、小・中学校及び関係機関がスムーズな連携を図りながら相談体制を充実させ、きめ細かな支援に取り組みます。
- 学校生活支援員の効果的な配置と施設の充実により、児童生徒の学びの場を保障するとともに、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進に努めます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校評価書の「特別支援教育」領域の保護者評価の平均値(点) ※4点満点	3.20 (令和6年度)	3.30 以上 (令和12年度)

教職員の資質・能力の向上

- 各種研究会、研修会等について内容の充実を図り、学習指導や生徒指導における教職員の指導力の向上に努めます。
- 部活動地域展開等による教職員の負担軽減や働きやすさの向上、校務DXの推進による学校運営の効率化等を積極的に推進し、教職員の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に取り組みます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校評価書の教職員評価の平均値(点) ※4点満点	3.45 (令和6年度)	3.50 以上 (令和12年度)

学校給食の充実と食育の推進

- 「安全で安心な給食」の充実に向けて、衛生管理の徹底と厨房機器や設備の適切な維持管理及び老朽化した機器の計画的な更新や迅速な修繕に取り組みます。
- 「おいしい給食」の充実に向けて、食材価格を考慮しつつ新鮮で安全な食材を使用し、食事摂取基準に基づいた栄養量を供給できる献立作成に努めます。
- さくら市場給食部会や地元生産者及び地元加工品会社等と連携し、地産地消の更なる推進に努めます。
- 様々な農業体験や、給食センターの見学会、生産者との交流給食などに積極的に取り組むとともに、栄養教諭による巡回指導を行い、食育の更なる推進に努めます。
- 「給食だより」や市ホームページ、施設見学・試食会等を通じて、広く学校給食及び食育の意義を示すとともに、家庭における望ましい食習慣のあり方などの啓発に努めます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
学校給食における市内産食材の使用率(%) ※金額ベース	37.8 (令和6年度)	40.0 (令和12年度)



▲ICT 機器を活用した授業風景



改築した東谷小学校屋内運動場▲



▲えんどう豆のさやむき体験



取組の方向性

いじめや不登校、非行の早期発見・早期対応を徹底し、学校・家庭・地域と関係機関が一体となって、青少年が心身ともに健やかに成長できる環境を整えます。

現状と課題

本市では、学校生活アンケートや「いじめ防止のための基本方針」の改定など、いじめや不登校を早期に発見し、対応する体制が整備されています。スクールソーシャルワーカーや相談員等による生活支援、教育支援教室での学習支援も行っていますが、不登校児童生徒数は全国的に増加傾向にあり、本市でも継続的な対応が求められます。

地域ぐるみの健全育成活動も活発で、巡回補導や声かけ運動、有害環境の浄化などを実施していますが、活動の担い手確保や若年層への参加促進が課題です。また、教育相談室による支援は定着していますが、相談内容の複雑化や長期化に対応できる体制の強化も必要です。

＼ まちづくり目標値 ／

「青少年の健全育成」に満足している市民の割合

27.7%

令和6年度 現状値

57.0%

令和12年度 目標値

施策 1

いじめ・不登校への組織的対応

- いじめの防止等への取組の重要性について、市民全体に認識を広め、学校・家庭・地域と関係機関が連携して取組を推進します。
- いじめの防止等のための対策が専門的知識に基づき適切に行われるよう、教職員研修の充実と専門家による教育相談体制の整備に努めます。
- いじめの未然防止、早期発見、早期対応について組織的に取り組みます。
- 不登校対策のための非常勤講師、**スクールソーシャルワーカー**等を小中学校に継続して配置するとともに、**教育支援教室**において、相談及び指導を行い、不登校児童生徒支援の充実や教育機会の確保を図ります。

\ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
1,000人当たりの不登校児童生徒数(人)	41.5 (令和6年度)	40.0 (令和12年度)

施策 2

地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進

- 青少年補導センターを軸として、学校、地域、関係機関等と連携を図り、補導活動の充実と有害環境の浄化に努めます。
- いじめ、不登校、非行、学習方法等の教育問題全般について児童・生徒、保護者からいつでも安心して相談できるよう教育相談活動の充実に努めます。

\ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
街頭補導活動の平均参加者数(人)	10.0 (令和6年度)	11.0 (令和12年度)

関連計画 東温市いじめ防止等のための基本方針／東温市自殺対策計画



取組の方向性

誰もが年齢や立場を問わず学び合い、自己の可能性を広げながら地域に生かせる環境を整え、学びを通じた人と人とのつながりを深めます。

現状と課題

本市では、情報化社会の進展や少子高齢化、価値観やライフスタイルの多様化に伴い、市民の生涯学習ニーズが複雑化・多様化する中で、幅広い世代を対象にした各種講座や文化活動を実施し、学習と交流の拠点づくりを推進するため、公民館の改修を進めています。また、文化協会や各種団体と連携したコンサートや文化祭の開催などを通じて、地域文化の振興に取り組んでいます。読書活動については、学校図書館との連携を進めており、子どもが読書に親しむ環境づくりを行っています。

一方で、公民館活動は参加者層が固定化する傾向があり、年代や興味の多様化に応じた柔軟な企画が求められます。公民館以外での発表・展示機会の拡大や活動支援制度の充実も課題です。図書館については、施設の老朽化や利用者のライフスタイルの変化に伴い、快適で魅力ある空間づくりの工夫が必要です。

また、インターネットや情報メディアの普及によって、子どもの「読書離れ」が深刻化しており、家庭での読書活動の重要性を再認識する必要があります。学校図書館との連携は進められているものの、子どもの読書習慣づくりやイベント参加促進には、より効果的なアプローチが求められます。

＼ まちづくり目標値 ／

「生涯学習社会の推進」に満足している市民の割合

33.7%

令和6年度 現状値

61.0%

令和12年度 目標値

施策
1

学び合い高め合う生涯学習の推進

- 学び合い高め合うことができるまちを実現するため、様々な変化に応じた生涯学習機会の提供、学習内容の向上に努めます。
- 公民館を拠点に活動している団体が、その成果を発表するなど、地域での活動に貢献できるよう、体制の整備に努めます。
- 社会教育関係団体等との連携を強化し、活動の支援体制の充実に努めます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
公民館利用団体数(団体)	200 (令和6年度)	250 (令和12年度)

施策
2

読書活動の推進と図書館利用の促進

- 市民ニーズを的確に把握し、新鮮で魅力ある図書館づくりに努めるとともに、松山圏域等、他の公立図書館との連携を推進します。
- 誰もが本と親しみ、読書を楽しめる環境を整えるとともに、学校や地域と連携して学びと成長を支える読書活動を推進します。
- 配本活動の充実と強化に努めながら、移動図書館車巡回場所の充実を図り、全市的なサービス網の整備を推進します。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
図書貸出者数(人)	61,179 (令和6年度)	62,000 (令和12年度)

関連計画 とうおん子ども読書活動推進計画



取組の方向性

地域に息づく文化や歴史を受け継ぎ、誰もが文化や芸術に親しみ、創造的な活動に参加できる環境を整えます。

現状と課題

本市では、文化協会や各種団体と協働し、文化祭やコンサートなど多様な文化行事を実施しており、市民が文化芸術に触れる機会を広げています。文化財・歴史資料については、収蔵庫の整備や保存環境の改善、デジタルアーカイブの構築を進めています。また市内には、国指定文化財4件、県指定文化財7件、市指定文化財 58件に加え国登録文化財が2件あり、先人から受け継がれた合わせて 70 件を超える文化財は、地域の歴史や文化を物語る貴重な財産となっています。

さらに、本市は「アート・ヴィレッジとうおん構想」を推進しています。舞台芸術を中心として文化芸術に関わる「仕事」と「学びの場」を創出し、全国からアーティストを呼び込んで、地域発の文化芸術を発信してきました。平成 30(2018)年に開設した「東温アートヴィレッジセンター」は、小劇場・稽古場・交流サロンを備え、市民や来訪者が文化芸術を身近に体験できる拠点となっています。

一方で、人口減少に伴う伝統文化の担い手不足や、温湿度管理をはじめとする文化財の保存環境の整備は、昨今の文化財行政における喫緊の課題となっています。これらの課題解決に向け、デジタル資料の活用による認知度向上を図るとともに、市民の文化・歴史への理解を深めるための取組を推進する必要があります。また、伝統行事の次世代継承に不安があることから、文化財や伝統文化を学習資源や地域振興の資源として活用し、郷土愛を育む取組が求められます。

これまで取り組んできた「アート・ヴィレッジとうおん構想」については、文化協会などの市民団体等との連携を深め、市民がより親しみやすく気軽に文化芸術に触れることのできる取組へと発展させていくことが求められます。

＼ まちづくり目標値 ／

「文化財の保護と文化芸術の振興」に満足している市民の割合

32.2%

60.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「文化・スポーツの推進」に関するアンケート結果

施策
1

文化活動・鑑賞機会の充実

- 文化祭やコンサートなどを各種団体と協働して開催します。
- 民間劇場などとの連携により、多様な芸術・文化を鑑賞する機会を拡充します。
- 市民が活動成果を発表できる場を広げ、文化活動の活性化を図ります。
- 地域や世代を超えた文化交流イベントを実施します。

\ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
市が主催・共催等をした文化芸術イベント開催回数(回) ※中央公民館・川内公民館開催分	5 (令和6年度)	10 (令和12年度)

施策
2

文化財・歴史資料の保存と活用

- 先人が築き永く守り伝えてきた文化財・歴史資料を次世代へ継承するため、それらの保護に取り組みます。
- 地域に残された伝承文化を継承していくため、デジタルデータの活用や後継者の育成支援等を通じて、体制強化を目指します。
- 収集資料を企画展示や歴史民俗資料館収蔵庫で積極的に公開するとともに、構築した収蔵資料データベースをホームページで情報公開するなど、市民の歴史・文化に対する意識高揚を図ります。

\ 目標値 /

指標名(単位)	現状値	目標値
歴史民俗資料館利用者数(人)	2,515 (令和6年度)	2,800 (令和12年度)
文化財・収集資料データベース公開件数(件)	10,155 (令和6年度)	11,000 (令和12年度)

文化芸術による地域活性化の推進

- 市民が主体となる多様な舞台芸術活動を推進し、文化芸術を通じた共感と交流の場を創出します。
- 文化芸術人材の育成や教育分野との連携を進め、次世代の担い手を育てます。
- 民間団体や福祉、観光などの各種分野と連携し、文化芸術を生かしたまちづくりの体制を整えます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
東温アートヴィレッジセンター利用者数累計(人)	106,786 (平成30～令和6年度)	200,000 (平成30～令和12年度)

関連計画 とうおんアート共創ビジョン



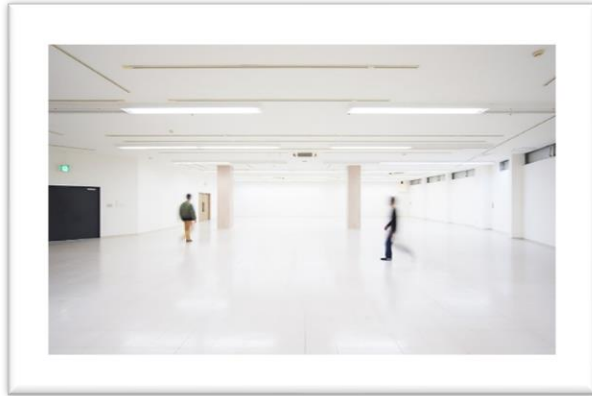
▲文化祭(オープニングフェスティバル)



▲文化祭(作品展示)



▲東温市民ミュージカル



アトリエ NEST▲



▲シアターNEST



リハーサルホール NEST▲



取組の方向性

年齢や体力、関心に応じて誰もが参加しやすいスポーツ機会を
を広げ、地域や関係団体と連携して、生涯にわたり健康で活
力ある生活を送ることができる環境を整えます。

現状と課題

本市では、総合公園をはじめ、ツインドーム重信や川内体育センター、かすみの森公園多目的広場、市内小中学校の体育館・運動場など多様なスポーツ環境を市民に提供し、利用促進を図っています。「東温市スポーツ推進計画」に基づき、年齢や体力に応じたスポーツ機会を提供し、スポーツ協会やスポーツ少年団、地域団体と連携した大会や教室の開催を通じて、健康増進と交流促進に取り組んでいます。さらに、プロスポーツ団体との協働によるイベントや指導者育成も進めています。

また、スポーツは健康保持や体力増進だけでなく、地域の新たなコミュニティ形成に重要な役割を担っており、本市でも各種大会や地域活動を通じて市民の交流と活力向上に寄与しています。

一方で、市民スポーツ大会では、人口減少・高齢化の進行などにより、参加者層の固定化や種目の偏りも見られることから、ニュースポーツの導入や複数地区合同での参加など、幅広い世代が楽しめる仕組みづくりが求められます。また、子どもの体力低下、人と人とのつながりの希薄化、競技団体の高齢化など、社会変化に伴う課題も顕在化しています。さらに、プロスポーツ団体との協働事業については、成果を継続的に発展させる仕組みづくりが課題となっています。

スポーツ施設の管理においては、老朽化の進行に対応し、計画的な修繕を行っていく必要があります。また、令和7(2025)年度から段階的に利用を開始している「東温スポーツフィールド」の活用と適正な管理が必要です。

＼ まちづくり目標値 ／

「スポーツ活動の推進」に満足している市民の割合

32.2%

60.0%

令和6年度 現状値

令和12年度 目標値

※現状値は、「文化・スポーツの推進」に関するアンケート結果

スポーツ環境の充実と利活用促進

- 市民がスポーツに親しむ場として、子どもから高齢者まで、誰もが利用しやすい施設等の充実と利活用の促進を図ります。
- 東温スポーツフィールドを活用して、市民はもとより、市外からも人を呼び込み、スポーツを核としたにぎわいの創出や地域経済の活性化につなげます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
東温スポーツフィールド利用者数(人)	建設中※ (令和6年度)	90,000 (令和12年度)

※ 令和7(2025)年度から順次オープン

市民参加型スポーツ活動の推進

- すべての市民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、市民スポーツ大会などの多様な参加機会を提供し、健康づくりと地域の活性化につながるスポーツ活動を推進します。
- 年齢や体力に関係なく楽しめるニュースポーツ(モルック・ボッチャなど)の普及・啓発を行い、幅広い層の参加を促します。
- スポーツ関係団体等との連携を強化し、競技力の向上や指導体制の充実を図ります。
- プロスポーツ団体と協働し、観戦機会やイベントを通じてスポーツへの関心を高めます。

＼ 目標値 ／

指標名(単位)	現状値	目標値
プロスポーツ関係団体との連携イベント等開催回数(回)	5 (令和6年度)	10 (令和12年度)

関連計画 東温市スポーツ推進計画